

# 東部保健所 国東地域(国東市・姫島村)感染症情報

令和6年第45週(11月4日～11月10日)

## ・マイコプラズマ肺炎について

東部保健所国東地域では、マイコプラズマ肺炎患者が報告されています。

マイコプラズマ肺炎は、「肺炎マイコプラズマ」に感染することによって起こる呼吸器感染症です。一般的な肺炎と異なり、学童期から成人に見られ高齢者には少ない感染症です。

発熱、倦怠感、頭痛、咽頭痛などの症状が出はじめ、数日後咳嗽(乾いた咳)が出てきます。特に咳は熱が下がっても3～4週間程度長く持続するのが特徴です。感染力はそれほど高くありませんが、せきやくしゃみの飛散から感染が広がる飛沫感染が主体です。潜伏期間が2～3週間と長く、家族間・学校・職場の同僚など接触時間が長い人の中で広がりやすいです。マスクの着用、換気などの感染予防対策を行きましょう。併せて、石けんによる手洗いやアルコールによる手指衛生も行いましょう。

## ・手足口病について

東部保健所国東地域では、手足口病患者が警報レベルにあります。

手足口病は、口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症です。感染は、排出されたウイルスが手を介して口に入ることによるもの(経口感染)、せきやくしゃみによるもの(飛沫感染)や接触感染で起こり、潜伏期は3～4日程度です。有効な抗ウイルス剤などはありませんので、手洗いの励行などの予防が重要です。口の中の症状が強くなったときには、水分不足にならないように注意が必要です。特に、乳幼児のいる家庭では十分注意して下さい。

(第45週)

疾患名 年齢	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻疹(全数報告)	風しん(全数報告)	百日咳(全数報告)	つつが虫病(全数報告)
0歳																	
1～3歳								7.00									
4～6歳				1.00									4.00				
7～9歳																	
10～14歳													5.00				
15～19歳																	
20歳以上		1.00															
今週		1.00		1.00				7.00					9.00				
70歳以上(再掲)																	
先週		0.50						2.00					8.00				

指定された医療機関(定点)から報告された患者数を、1定点あたりに換算して計上しています。  
(定点医療機関数;インフルエンザ/COVID-19定点 2、小児科定点 1)

疾患ごとの警報・注意報の基準値

※単位は定点あたり報告数

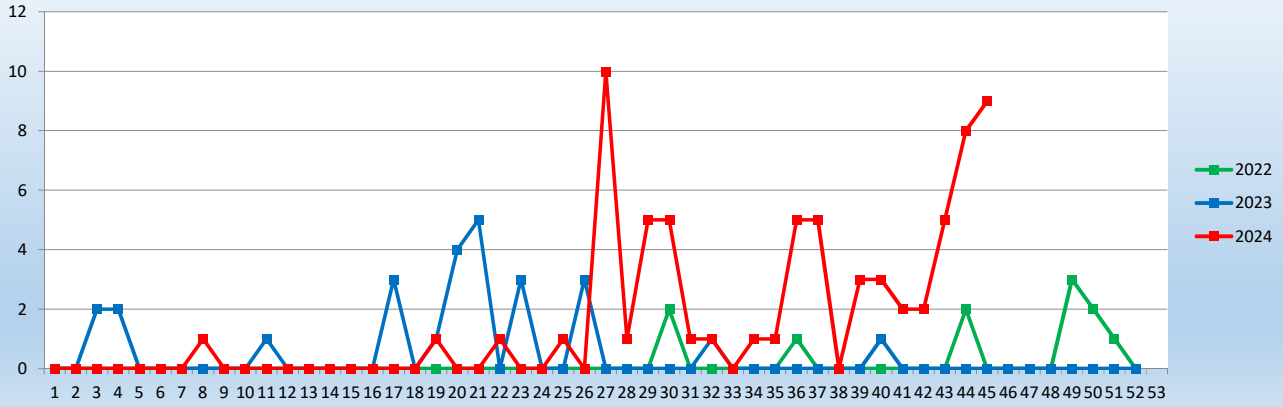
	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10
咽頭結膜熱	3.0	1.0	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-
感染性胃腸炎	20.0	12.0	-
水痘	2.0	1.0	1
手足口病	5.0	2.0	-
伝染性紅斑	2.0	1.0	-
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3
急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-
流行性角結膜炎	8.0	4.0	-

警報レベル:大きな流行が発生または継続していると疑われることを指します。

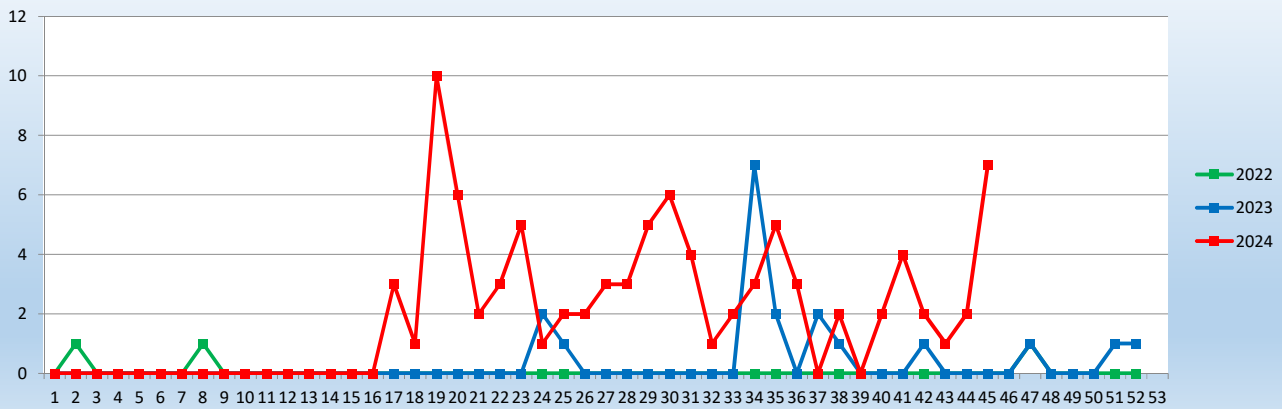
注意報レベル:流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

## 過去3年間の発生動向(国東地域)

### 定点当たり報告数 マイコプラズマ肺炎



### 定点当たり報告数 手足口病



### 定点当たり報告数 新型コロナウイルス感染症

